

## ●一般演題 I 「LUTS・副作用対策」

座長：滋賀医科大学泌尿器科学講座 岡田 裕作

### 5. 副作用対策としての漢方療法 — α1遮断薬による起立性低血圧に対する 苓桂朮甘湯の臨床効果

深川市立病院 泌尿器科

○佐賀 祐司、芳生 旭辰、藤澤 真

【目的】前立腺肥大症で頻用されるα1遮断薬の副作用として、めまい、立ちくらみなどの起立性低血圧症状がときに認められる。起立性低血圧に用いられるツムラ苓桂朮甘湯（TJ-39）を併用することでこの症状を改善できるかどうかについて検討した。

【方法】対象は深川市立病院泌尿器科を受診し、α1遮断薬を最低2週間以上投与された前立腺肥大症患者のうち、起立性低血圧症状を呈した11例。年齢57～83歳（平均76歳）。α1遮断薬の内訳はシロドシン6例、ナフトピジル4例、タムスロシン1例。方法はTJ-39を7.5g/dayで併用投与し、TJ-39投与前、投与2週間後にそれぞれ起立試験を施行。また日常の自覚症状改善の有無評価。

起立試験判定基準は以下のうちどれかひとつでも当てはまれば陽性とした。

基準1 立位における収縮期血圧が仰臥位に比し20mmHg以上低下

基準2 立位における拡張期血圧が仰臥位に比し10mmHg以上低下、もしくは立位における拡張期血圧が65mmHg以下

基準3 立位における脈拍数が仰臥位に比し20bpm以上増加、もしくは立位における脈拍数が100bpm以上

基準4 血圧低下に基づくと考えられる臨床症状の出現

【結果】起立試験ではTJ-39投与前9例、投与後9例が陽性であった。日常の自覚症状は消失4例、改善5例と投与11例中9例で有効であった。副作用は高血圧悪化（収縮期血圧10mmHgの上昇）、胃部不快感、下腿浮腫それぞれ1例認められたが、TJ-39休薬で軽快ないし消失した。TJ-39によるLUTSの悪化は認めなかった。

【考察】α1遮断薬ではfirst dose phenomenonが認められるので、TJ-39なしでも起立性低血圧症状が自然軽快した可能性はある。しかしTJ-39は即効性があること、またTJ-39休薬で起立性低血圧症状の増悪が見られることから、α1遮断薬による起立性低血圧症状の改善に有用と思われた。また、起立試験を行って判明したことは、血圧絶対値が低くなくても立位負荷をかけるとめまい、立ちくらみなどの起立性低血圧症状が出現することがあるということ、日常診療上注意が必要である。

### 6. 抗コリン剤による口渇に対する 白虎加人参湯の治療経験

大田原赤十字病院 整形外科

○吉田 祐文、榎木 弘和、田島 康介  
高尾 英龍、木村 昌芳、木場 健

演者は整形外科の中で脊椎脊髄外科を専門領域としているが、数年前までは排尿障害に対する認識は一般の整形外科医同様低かったと言わざるを得ない。日本整形外科学会には腰椎疾患と頸部脊椎性脊髄症それぞれに治療成績判定基準があり、汎用されているが、その中に排尿障害の項目がある。腰椎疾患では正常、軽度の排尿障害、高度の排尿障害の3段階あり、軽度障害には頻尿・排尿遅延・残尿感、高度障害には失禁・尿閉が属している。頸部脊椎性脊髄症では正常、軽度障害、中等度障害、高度障害の4段階であり、軽度障害には開始遅延・頻尿、中等度障害には残尿感・怒責・尿きり不良・排尿時間遅延・尿もれ、高度障害には失禁・尿閉が属している。ただし、障害の程度（正常～高度障害）に応じてスコアリングするだけで、排尿障害の重症度には触れられていない。

演者が本当の意味での排尿障害に関心を持つきっかけになったのは、2008年に地元で開催された排尿障害セミナーに整形外科の立場から参加する機会を持ったことによる。テーマは整形外科を整形外科的な疾患で受診する症例の中にどれほど過活動膀胱の症例が存在するかを質問票を用いて聞き取り調査を行う、というものであった。調査の結果は303例中の57例、19%が過活動膀胱であり、その多さに驚かされた。話半分にしても、目の前を通り過ぎる症例の10人に1人が過活動膀胱であるわけであるが、その疾患概念を知らなければ全て素通りしていきただけであると言う事実を重く受け止め、せめて整形外科医であっても診断できるようになるべきであると考え、科としてこの問題に取り組み始めた。現在は泌尿器科と連携して軽症のLUTSのプライマリーケアへの関わり方を模索している。

演者は過活動膀胱からこの世界に入ったわけであるが、その治療薬である抗コリン剤を使用して感じるのが、切味のよさと副作用としての口渇の多さであった。たいていの症例では口渇が出現しても夜間頻尿が減少しているため継続を希望するが、有用な治療薬は無いようであるため休薬にいたる症例も存在する。演者は日本東洋医学会の専門医であり日々の臨床にエキス剤の漢方薬を頻用しているため、口渇の改善を漢方薬で果たせないか検討してみた。今回は白虎加人参湯エキス顆粒の使用経験についての報告をする。